

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	晴る日 藤田事業所		
○保護者評価実施期間	令和 7年2月1日	～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	令和 7年2月1日	～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3 月 25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童さんが自分らしく安心していられる場所	・嬉しいときは共に喜び、困っている時は寄り添いながら日々の集団生活の中で職員や児童との関係作りを構築します。そして事業所がなんでも話せる場所となり、のびのびと楽しく過ごせる場所になる環境作りをしていきます。	・他事業所や第三者からの意見を柔軟に取り入れていきます。
2	集団活動の充実	・マナー、運動、音楽等を取り入れた活動に楽しく参加でき、そして生活に活かせる事ができる集団活動を提案しています。また長期休みには公共施設を利用したイベント企画して社会体験を重ねていきます。	・利用児童さんのやりたいことや行きたい事をリサーチし、一緒に考えたイベントを企画することで児童の活動意欲を高めたり、自分で考える力や達成感を養っていきます。
3	事業所の風通しを良くする	・利用児童さん、スタッフ一同、どんな事でも話合える明るい雰囲気作りをしていきます。いつも何処からか笑い声が聞こえてくる笑顔が絶えない環境作りをします。	・楽しい中にもメリハリの意識を持ち、気持ちの切り替えが早くできるようになる声掛け支援に取り組みます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	勉強会の頻度	・毎月全員参加のミーティングの開催をしその中で行っているが、頻度を増やしたいと考えている	・月ごとや曜日など特定の日にちを決め、年間行事に組み込んでいきます。
2	事業所前が交通量が多く、車の往来が激しいため危険だと感じている	大通りの角地という事もあり、急な飛び出し等で大きな事故に直結するリスクが他事業所より高い状況です。	移転などは難しいため、施設内の徹底や見守り強化を遵守し事故を起こさないように考えていきます。
3			